

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年1月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300282
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム だんだん
所在地	鹿児島県鹿屋市西大手町11番11号 (電話) 0994-36-8678
自己評価作成日	令和5年12月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームだんだんは鹿屋市の中心に近い場所にあるので地域の行事などに積極的に参加していきたいと思っています。ホームでの生活では利用者様が昔からしてきた梅干し作りや吊り大根干しなど季節を感じていただけるような支援をしていきたい。利用者様、職員と一緒に笑って過ごせるような環境作りを目指します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は法人事業所を本部として運営されており、委員会・研修会の合同開催や災害時の協力・行事食の差入れ等、本部の協力体制が築かれている。
- ・地域行事の水神祭や鹿屋夏祭りへの参加や近隣の学童保育施設との交流・初任者研修・中学生職場体験学習受け入れ等、様々な形で地域との交流に取り組んでいる。
- ・管理者・職員は、利用者が事業所内に閉じこもらないよう計画を立てて季節の花見や買い物等のドライブにでかけたり、希望で墓参りや自宅訪問・家族参加の夕食にも取り組んでいる。
- ・管理者・職員は、利用者がこれまでしてきた保存食づくりや調理等に個々の力に応じて参加してもらおう等、生活を楽しんでもらえるよう取り組んでいる。
- ・管理者は、研修受講や資格取得を勧め職員の質の向上を図っており、法人の補助制度もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	業務引継ぎの申し送り時に理念を唱和し理念の確認、意識向上に努めている。	理念を重要事項説明書に掲載するとともに事務所に掲示しており、毎朝申し送り時に唱和して確認している。職員会議時にケアの振り返りを行い、理念に沿った実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の行事の情報収集をおこない状況に応じて参加し交流を図っている。運営推進会議を通し地域の情報収集を行っている。	町内会に加入し回覧板等で地域情報を把握している。水神祭・夏祭りへの参加や初任者研修・中学生職場体験学習を受け入れ地域と交流している。近隣の学童保育所に花鉢や焼き芋を差入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	学生の体験学習への協力、認知症サポートワーカーに加入し相談窓口を設け地域の人々に向けて発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ感染が拡大した場合は文書での報告を行っていた。5類になってからは状況をふまえながら通常の形で開催し報告や意見交換が出来ている。	10月以降は対面で実施し、事業所の報告と意見交換を行っている。書面開催時は資料を配布し電話で意見を聞いていた。地域情報を得たり、事業所への理解を得る機会となっている。今後、会議活性化のため新規委員の依頼を検討する予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村からの定期連絡はメールでいただいている。業務上で確認が必要な場合は市役所担当部署に相談・確認を行っている。	市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や報告等で窓口に出向き、連携を図っており、生活保護担当者とも同様に出向いて報告等を行って、協力関係を築いている。市の研修会に参加し情報収集もしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止宣言や身体拘束の三原則などを玄関、職員の共有場に掲示し身体拘束を行わない意識向上に努めている。	指針を法人で作成し、法人の3ヶ月毎の委員会及び年2回の研修会に参加している。研修は事業所でも年3回実施し、理解を深めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。スピーチロックは会議等で管理者から注意を促し、玄関は施錠せず、外に出たい利用者には散歩に同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	コンフィアンス鹿屋事業所に虐待防止身体拘束廃止委員会を設置しアンケートや研修を定期で行い虐待防止の意識向上に努めている。打撲痕などあれば写真を撮り原因究明をおこなっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する事業所内研修、外部研修を受け学習する機会を設けている。日常のケアを通じ知識を現場に活かせるよう検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>コロナ禍では書類などご家族に送り電話で説明をおこなった。説明に納得していただけるよう疑問はないか確認している。改定があれば同意書を送りご理解をもとめている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様は日常の会話の中で要望などあれば職員間で共有し、ご家族には電話や面会時に要望など確認するようにしている。要望などチームで検討し可能な限り対応している。</p>	<p>利用者には日常会話の中で要望を聞き、外食希望時は家族が参加することもある。家族には、電話や面会時に要望を聞いてその都度検討し対応に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月部署会を開き検討の場で相談や意見などないか確認している。検討事案があればチームで検討し決定事項を共有している。</p>	<p>管理者は、毎月部署会議時に職員の提案等を聞く機会を設けている。「休憩時間の実施」との意見を受け、実行に向けて検討中である。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に代表者には事業所の状況は報告されており職場環境などの整備に繋がっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月事業所内研修をおこない知識向上、スキルアップにつながるよう努めている。ケアの方法については意見を出し合い共有し質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区の協議会に加盟し定期的に研修案内があり鹿屋市のグループホーム主体の研修へ参加し同業所間との交流に繋がっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員は利用者様の不安に思うことやしたいことを聞いたときは職員間で情報共有し関係性作りに活かしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時の説明の場やサービス開始してからの状態報告のときなどにご家族からも要望や不安などないか確認し言いやすい関係性を築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時にご家族の想い、利用者様の身体状況やこれまでの生活状況をふまえたうえで必要なサービスもふくめてケアの方向性を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常的にコミュニケーションを図りいい関係性作りの重要性についてはチームで共有できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	遠方でも利用者様とご家族様のつながりが途切れぬよう毎月コメント付きの写真を送付している。ラインで写真を送ったり電話で報告しながら利用者様の状況を共有している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	5類になりご家族の意識も変わり面会に来て下さる機会が増えてきている。感染症の状況に合わせて対面やガラス越しか判断し交流できるよう努めている。	10月から実施している家族との居室面会や電話・手紙での交流を支援し、事業所からは写真を毎月、広報紙を3ヶ月毎に送付して近況報告を行っている。墓参りや自宅訪問に同行した際に、知人との交流も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性など考慮し会話や共に行う活動が出来るよう席の配置を決めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などで退居になった場合も本人やご家族の意向を聞きながら退居後も相談支援をおこなえることを退居時にご家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と日常的にコミュニケーションを図り希望や要望などを聞き本人の思いなど職員間で共有し実現できるよう努めている。	日常会話で本人の要望等を把握し、可能な限り実現できるように努めており、外食支援にも繋げている。困難な場合は、家族からの情報を参考に本人の様子を見ながら思いを推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にカンファレンスを行い生活歴・生活環境の共有を図り入居後のケアに活かせるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の希望、心身状態を記録、申し送りを利用し情報共有をおこない日常のケアに取り入れている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時には本人、家族の希望や意向を伺い更新時期には職員に日常の生活状況などを聞き追加や変更が必要か検討し介護計画を作成している。	家族の希望を聞き職員の意見を加えて仮計画を作成し、家族の了解を得て本プランとしている。モニタリングを2ヶ月に1回実施し軽微な変更を行っている。状況変化時や介護認定更新時等に現状に合った介護計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の支援経過用紙とは別に気づきや特記事項を書く用紙に記録し職員間で共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の面会や外出など要望などがあれば状況を考えながら可能な限り応えられるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加など状況に応じ可能な限り参加できるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在、馴染のかかりつけ医、訪問診療による定期受診を全員が受けられている。不調などあればご家族、医療機関と連絡をとり対応している。	契約時に希望を確認し、月2回かかりつけ医の訪問診療や定期受診を支援している。他科受診は家族対応を基本にしているが、職員同行の場合は家族に結果を報告している。週1回の訪問看護による健康チェックも実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>心身状態の変化が発見された場合は看護職員、訪問看護師に連絡し処置や病院受診の対応をおこなっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にご家族と病状説明を受けるなどし病院と情報交換を行っている。定期的に相談員に連絡を取り入院中の経過や退院後のケアについて検討を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>病状の段階によりその都度医師からの病状説明をご家族と受けながら終末期におけるケア方向性を決めたくてチーム内で検討し共有している。ご家族、関係者ととも本人に寄り添ったケアが出来るよう努めている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書をとっている。選択肢は必要時に説明し、段階的に家族の意向を確認している。状況変化時に医師からの説明後に家族の意向を確認している。家族の意向に沿って支援に取り組んでおり、看取り介護も実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当や急変時の対応マニュアルはいつでも確認できる場所に配置している。緊急時対応の事業所内研修を行いスキルアップに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回の避難誘導訓練を実施している。避難場所、誘導の手順確認を職員に周知し全員が対応できるよう体制を整えている。</p>	<p>年2回昼夜想定 of 火災・水害・地震避難訓練を実施し、消防署の立ち合いは受けていない。町内会長の訓練参加及び緊急通報装置への登録協力がある。法人内の協力体制も築いている。非常用の備蓄は、3日分の水・米・ラーメン・そうめん・缶詰等の食料及びカセットコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇や高齢者虐待の事業所内研修をおこない職員の意識向上に努めている。コミュニケーションを図り得た情報を職員間で共有し一人一人に合わせた対応をしている。	研修を実施し、一人ひとりに合わせた言葉や対応に努めている。入浴の同性介助やトイレの戸を閉める、入室時・ケア前の声掛け、申し送りは事務所内で内容がわからないようにする等、誇りやプライバシーを損ねないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中での声かけは本人が自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人の生活リズムを把握し要望を聞き選択してもらいながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整髪や爪切りの援助をおこない衣類など御自分で選んでいただけるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皿への盛り付け、食器洗い、トレイの拭き上げ、おしぼりの準備を日常的におこない。煮物の味付け、お好み焼き、たこ焼きを職員と共に行っている。	献立は職員が作成し、刻み食等で提供している。利用者も一緒に調理や片づけを行い、保存食づくりをしている。誕生会のケーキ、行事食（法人からの弁当）、外食等で食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事への声かけ、食事介助、水分摂取が出来ない利用者への工夫を職員で検討しながら1人1人に合わせた支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後それぞれの利用者に合わせて形で口腔ケアを行えるよう努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者それぞれの排泄のタイミングを把握し出来るだけトイレへの排泄が出来るよう声かけで促しや誘導をおこなう支援をしている。</p>	<p>日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、時間や利用者の様子を見て声掛けしている。布パンツ使用を維持している利用者もあり、排泄用品は個々に応じた適切なものを使用している。夜間はポータブルトイレ使用やパット交換をする利用者もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>個人の排泄状況を把握し水分量や牛乳など排泄に繋がるよう工夫を行っている。体操を日課とし運動も出来るよう便秘予防に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>一般浴槽と機械浴層があり個人の身体の状態に合わせて浴槽を選択している。入浴の声かけをおこない要望があれば時間や日をずらしたりして入浴の支援をおこなっている。</p>	<p>週3回午前中の入浴を支援しており、必要に応じてリフト浴や足浴を実施し、同性介助も対応している。汚染時は陰洗やシャワー浴・入浴を行っている。嫌がる場合は声掛けを工夫して清潔保持に努めている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中は状態や希望を聞きながら静養していただいている。夜間は本人のペースで居室で休めるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>排泄・皮膚・身体の変化などがあれば申し送りや記録で職員間で共有しかかりつけ医に相談している。服薬の変更があれば申し送りノートなどで共有している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>新聞購読、ぬり絵、クロスワードなど趣向に合わせて準備している。ほかにインターネットを利用した動画視聴、近くの水神様までの散歩など</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近所の水神様まで水汲みを兼ねた散歩。地域の食堂などへの外食の支援を行っている。</p>	<p>気候の良い日は近隣の散歩をしている。年間計画で季節の花見・墓参り・道の駅での買い物・自宅訪問等の外出・その日の希望等でドライブ・外食等、法人の車いす対応車を活用して支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の紛失やトラブルの要因となることを避けるために金銭の所持はお断りしているが買い物の希望があれば代行での買い物支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の要望があれば職員が電話をかけて話していただけるよう支援している。毎月写真付きのメッセージカードをご家族に送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールでは温度計湿度計などで快適に過ごしていただくよう調整している。光が入る窓などにはサンシェードなどで保護をしている。季節を感じる事が出来るよう飾り付けなどの工夫をしている。</p>	<p>ホールは空気清浄機や加湿器・エアコン・サンシェードで過ごしやすい室内環境に調節し、換気は窓を開けて行っている。季節の飾り付けをした室内で、利用者がソファや畳部屋・廊下等の好みの場所でくつろげるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールには食事などをおこなうテーブル席の他にソファや畳部屋で希望に合わせて過ごしていただけるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはご家族から持ってきていただいた写真や昔の写真を飾り自分の部屋だと認識していただけるよう工夫している。</p>	<p>居室にはベッドや収納ボックス・エアコンが備えてあり、利用者はラジオや収納ケース・写真・時計・ぬいぐるみ等の使い慣れたものを持ち込み、落ち着いて過ごせる部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車イスで自走される利用者様の場合は動線の確保に努めている。トイレなど認識しやすいよう表記している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		<input checked="" type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input checked="" type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない